

【研究課題】 「たくましく生きる心と体を育む健康教育と校長の在り方」

- 【リーダーシップの視点】 (1) 心身ともに健やかな成長を目指す健康教育の推進
(2) 望ましい食習慣の形成を目指す食育の充実

I 分科会研究協議の運営計画

「リーダーシップの視点1：心身ともに健やかな成長を目指す健康教育の推進」

食事、運動、休養、睡眠などの重要性を理解し、自らの基本的な生活習慣を見直すことや、心と体の密接な関連性を理解し、様々な欲求やストレスに対して、状況に合わせて適切に対処できる力を育てることは重要な課題である。さらに、生活習慣病や基本的な感染症に関する知識をもち、個人でできる予防手段を講じることができるなど、自分の体への関心を高め、生涯にわたって健康を維持できる能力を育む必要性が叫ばれている。心身ともに健やかな成長を目指す健康教育の推進のために、校長が果たすべき役割と指導性を究明する。

「リーダーシップの視点2：望ましい食習慣の形成を目指す食育の充実」

メンタルヘルスに関わる課題やアレルギー疾患など子どもの様々な健康問題が生じている。さらに、欠食、偏食、孤食といった課題が生じており、生活リズムを身に付けさせることや生活習慣病を予防するために、正しい食に関する知識と望ましい食習慣を育むことが大切である。食育の指導にあたって、養護教諭や栄養教諭の主体的な関わりとともに、全教職員それぞれの役割を明確にし、相互の効果的な連携と取組の体制確立のために、校長が果たすべき役割と指導性を究明する。

II 昨年度までの課題～渡島北斗大会から～

〈研究の視点1にかかわって〉

- 各領域及び総合的な学習の時間、学校行事など、**健康教育の全体計画**における関連を明確化、校務分掌への位置付け、校内委員会の設置など、**指導体制の整備・充実**。
- 研修の充実、心と体の両面について**教師の実践的指導力の向上**
- 学校評価などを活用し、生活習慣の把握に努め、**保護者の意識啓発や学習機会提供のための積極的な情報提供**
- 意欲的に実践できる**体力・運動能力向上の取組の工夫と継続**

〈研究の視点2にかかわって〉

- 全体計画に基づき、発達段階に応じた**具体的実践例の工夫と積み上げ**
- 担任教師の他、栄養教諭や養護教諭の役割と関わり方の明確化と**連携した指導の計画と実践**
- 家庭での**食習慣の把握と意識啓発**
- 栽培体験や地域人材の協力、食に関する授業の充実と保護者への公開、給食の試食会など、**家庭・地域との連携**

III 研究発表の概要

研究発表者 釧路市地区 釧路市立桜が丘小学校長 室山 俊美
発表題 「健やかな心身を育成する健康教育の推進と校長の指導性」

- 【研究の視点】 (1) 心身ともに健やかな成長を目指す健康教育の推進
(2) 望ましい食習慣の形成を目指す食育の充実

【発表の要旨】 1 趣旨

- ・ 体育・健康に関する指導の重要性
- ・ 釧路市教育推進基本計画と釧路市小学校長会の3か年研究

2 研究の概要

- ・ 平成25年 各校の健康・体力づくりの現状と課題についての一次調査

- ・平成26年 再調査の実施と考察
 - (1) 心身ともに健やかな成長を目指す健康教育の推進
 - ①健康教育に関する全体計画と校内体制の活性化
 - ②健康教育に取り組む教職員の意識高揚と体育授業
 - (2) 望ましい食習慣の形成を目指す食育の充実
 - ①学校における食育教育の推進

3 まとめ

IV 協議の流れ (13:00～16:30)

* グループ名刺交換 (名刺持参) ※名刺のご準備をお願いします。

- ・5～6人グループ6つ、発表カードの配付

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| 1. 開会の言葉 | |
| 2. 担当者の紹介 | 13:00～13:05 |
| 3. 司会者挨拶 | 13:05～13:10 |
| 4. 自己紹介 | 13:10～13:15 |
| 5. 趣旨説明 (10分) | 13:15～13:25 |
| 6. 研究発表① (20分) | 13:25～13:45 |
| ・プロジェクターを使用しプレゼンテーション、補助資料も使い説明する。 | |
| 7. 研究協議① (45分) | 13:45～14:30 (グループ交流) |

- ・討議の柱1～①健康教育の確かな取組を推進するために校内体制の活性化を図るには、校長はどのように指導性を発揮するか。

【キーワード】「学校経営への位置付け」「教育課程への位置付け」
「校内体制の確立」

- ②教職員の意識を高め、体力向上の取組や体育授業の工夫改善を図るために、校長はどのように指導性を発揮するか。

【キーワード】「児童の実態把握とその活用」「体力向上の具体的実践」
「体育授業の充実」

※前半の研究協議では、討議の柱1①②に沿って意見交流を行います。各校長先生のお考えをまとめておいていただくと協議も深まると思います。よろしくお願いいたします。

- | | |
|--|----------------------|
| 8. グループ発表 (20分) | 14:30～14:50 (全体交流) |
| 9. 休憩 (15分) | 14:50～15:05 |
| 10. 研究発表② (10分) | 15:05～15:15 |
| 11. 研究協議② (45分) | 15:15～16:00 (グループ交流) |
| ・討議の柱2～①望ましい食習慣を形成する食に関する指導や家庭・地域との連携した食育を推進するために、校長はどのように指導性を発揮するか。 | |
| 【キーワード】「食に関する指導の具体的実践」「校内体制の確立」
「家庭・地域との連携強化」 | |

※後半の研究協議では、討議の柱2①に沿って意見交流を行います。各校の食育推進に関する取組 (食に関する指導の実践例、校内体制づくり、家庭・地域と連携した実践例など) をもとにグループ内で交流したいと考えています。簡単な資料で結構ですので、ご準備できる校長先生は8部ご準備いただくよう、よろしくお願いいたします。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 12. グループ発表 (15分) | 16:00～16:15 (全体交流) |
| 13. まとめと今後の課題 (10分) | 16:15～16:25 趣旨説明者 |
| 14. 閉会の言葉 | |
| 15. 連絡 | |